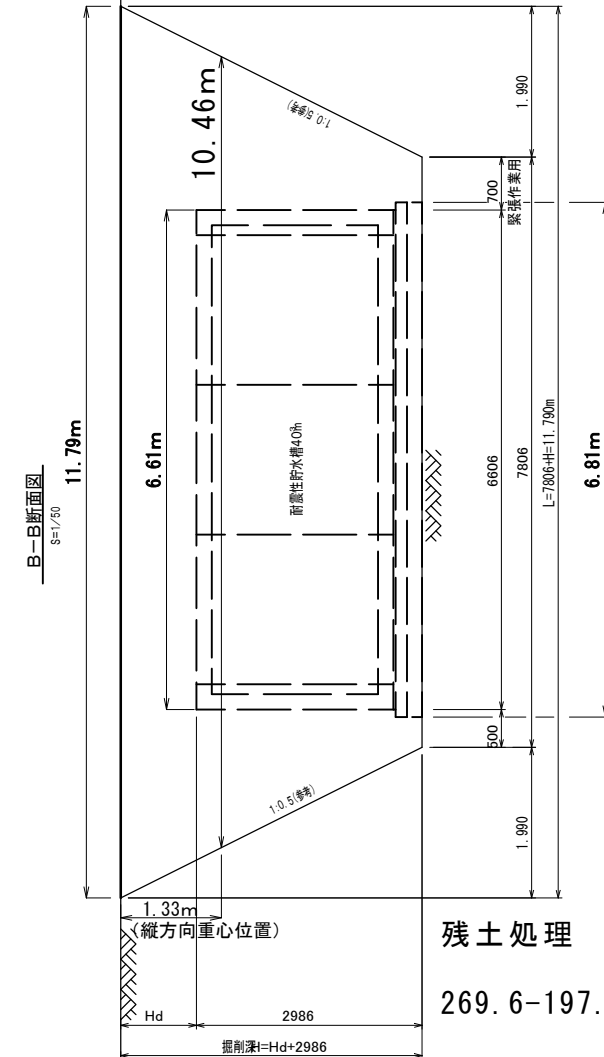
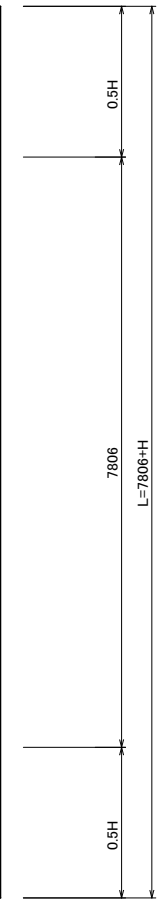
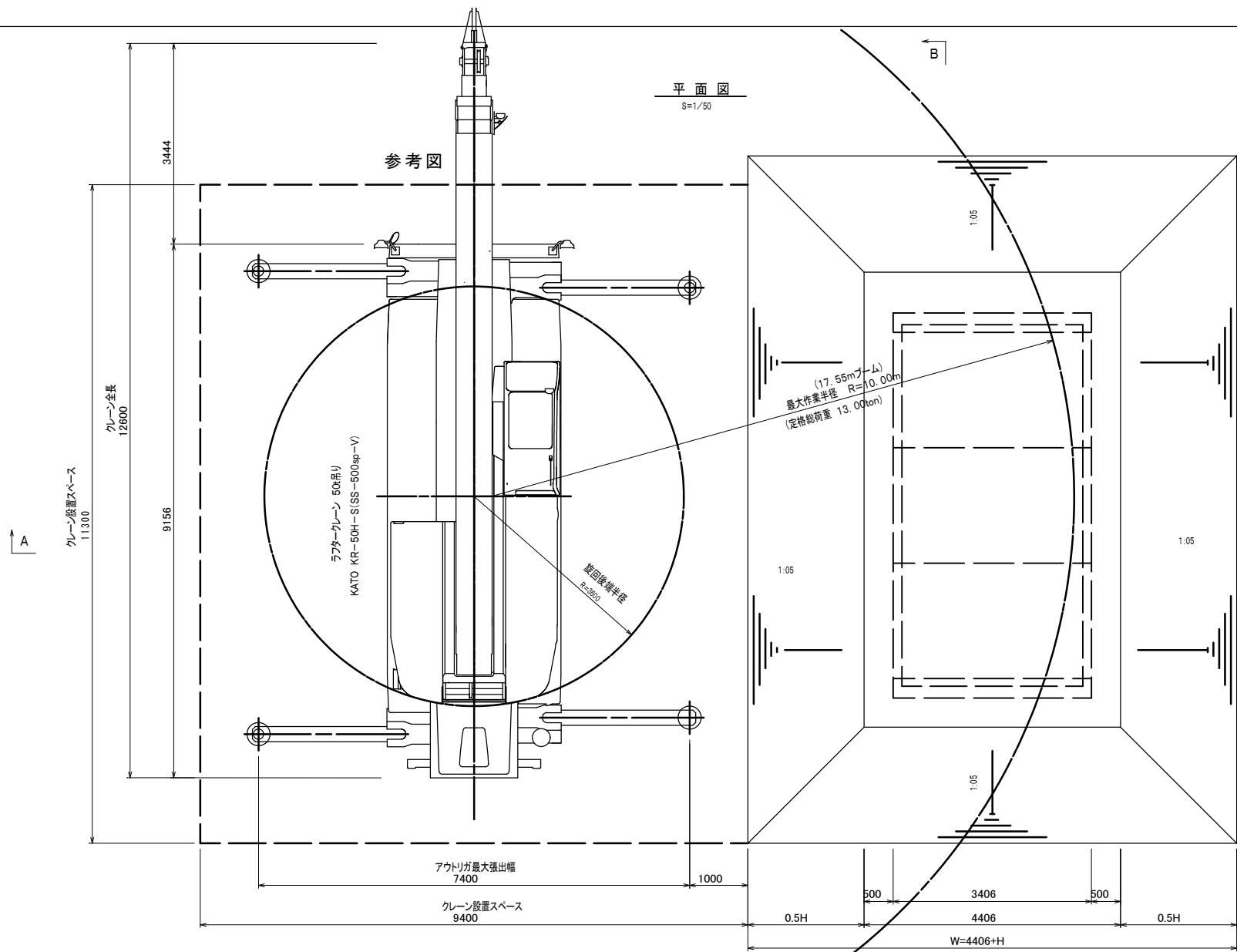
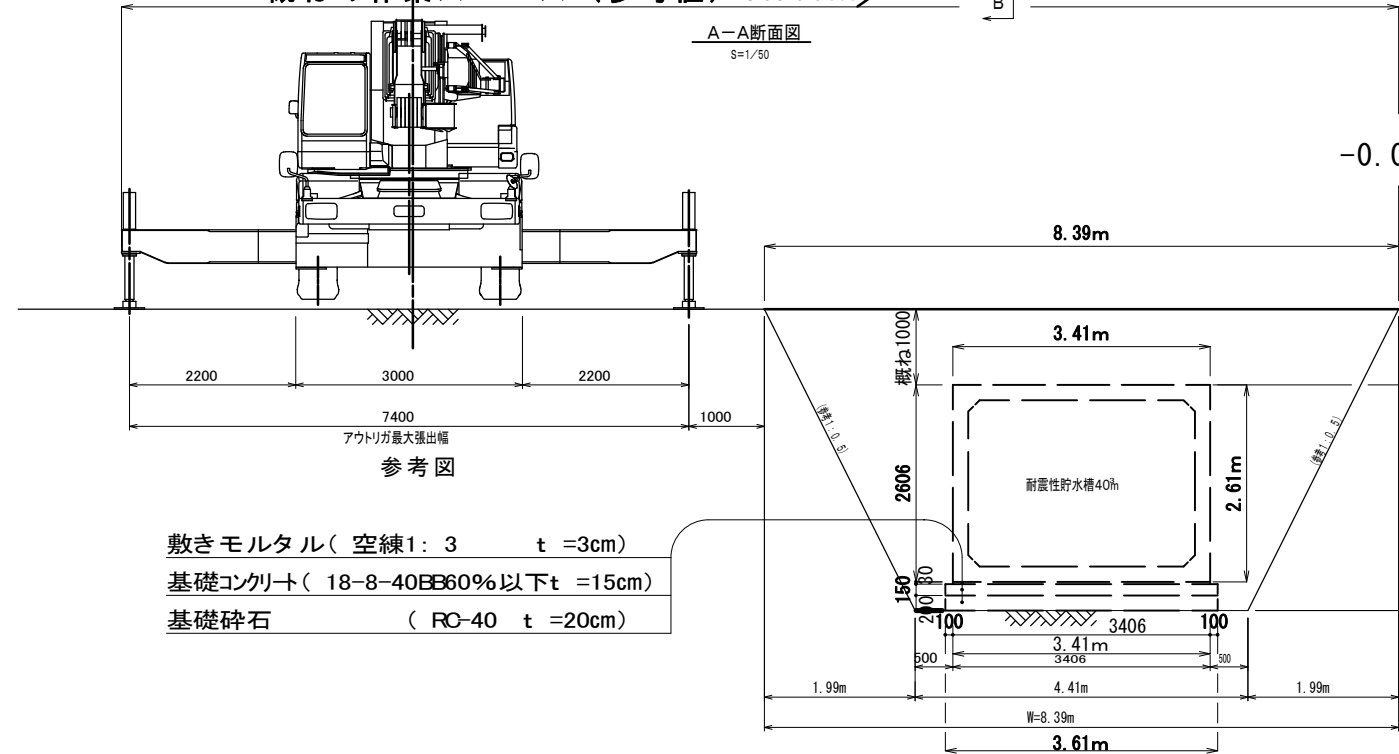


※掘削勾配に関する考え方  
表示掘削勾配: 0.5は参考値である。  
従って、施工者は土質調査結果に基づき  
労働安全衛生規則及び切土工指針等を遵守  
して施工するものとする。  
(想定外土質は契約変更の対象とする)



概ねの作業スペース (参考値) 16.90m



敷きモルタル (空練1:3 t=3cm)  
基礎コンクリート (18-8-40BB60%以下 t=15cm)  
基礎砕石 (RC-40 t=20cm)

機械床掘 (4.41+8.39) 1/2 × 3.99 × 10.46 + 1.5 × 1.5 × 0.55 × 2箇所 = 269.6m<sup>3</sup>

埋戻 269.6 - 2.61 × 3.41 × 6.61 - 1.5 × 1.5 × 0.55 × 2箇所 - (0.2+0.15) × 3.61 × 6.81 - 0.03 × 3.41 × 6.61 - (0.905<sup>2</sup> × π / 4) × 1.0 × 2箇所 = 197.7m<sup>3</sup>

基面整正 3.61 × 6.81 = 24.6m<sup>2</sup>

基礎コンクリート (18-8-40BB60%以下) 厚さ15cm  
6.806 × 3.606 × 0.15 + (1.5 × 1.5 - 1.066<sup>2</sup> × π / 4) × 0.4 × 2 = 4.77m<sup>3</sup>

基礎コン型枠 (6.806+3.606) × 2 × 0.15 + 1.066π × 0.4 × 2箇所 = 5.8m<sup>2</sup>

モルタル (空練り1:3) 3.41 × 6.61 × 0.03 = 0.68m<sup>3</sup>

基礎砕石 (RC-40) 厚さ20cm  
3.61 × 6.81 = 24.6 ÷ 25m<sup>2</sup>  
24.6 × 0.2 = 4.9m<sup>3</sup>

セフティパイプ撤去復旧 2.0基

フェンス (H=1.0) 撤去復旧 L=12.0m

判の木常会花の郷ようこそ看板撤去設置1.0基

残土処理  
269.6 - 197.7 / 0.9 = 49.9 ÷ 50m<sup>3</sup>

注: 寸法のm表示は、数量計算に用いるために実寸法をラウンド処理したものである。(寸法単位表示がないものはmm。但し製品指定では無い。)

従って土質の変更以外変更の対象とはしない)

注: クレーン作業は50t吊鉤クレーンとして最大接地圧paを確認し、qd/pa=Fs (Fsは3.0を基本とする)を満たし、監督員の承認を得ること。

参考図

令和元年度	耐震性貯水増設工事
番号 4/4	仮設参考図 縮尺 図示
真輪町 福与区	
町長	課長 照査 設計
真輪町役場	
設計会社	管理技術者
測量会社	照査技術者
調査会社	主任技術者
	主任技術者

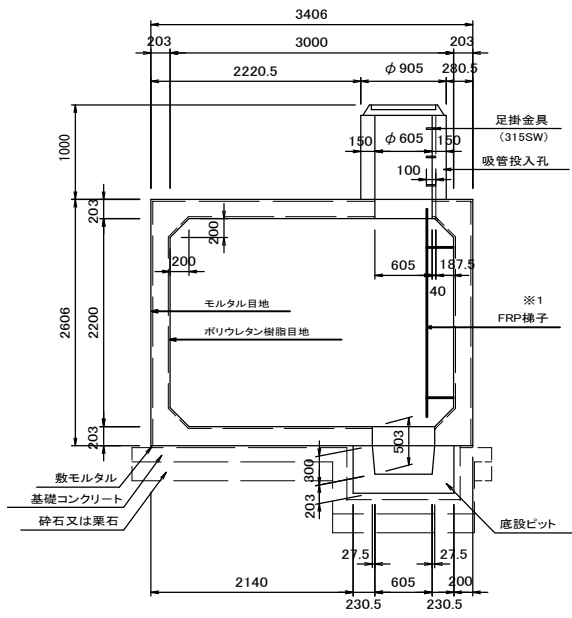
実施図

二次製品防火水槽 40m<sup>3</sup> 型 構造図

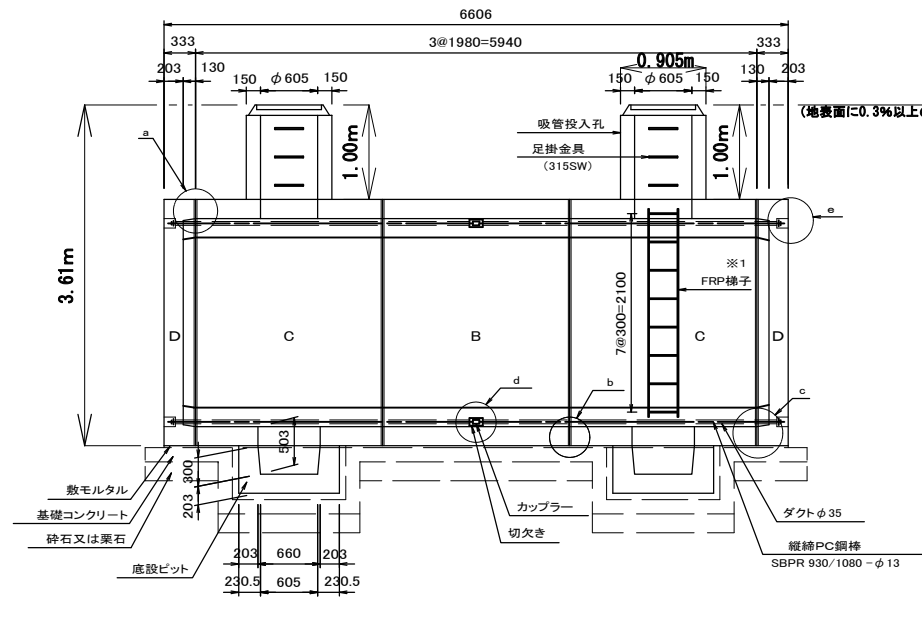
S=1/40

注1 吸管投入孔・ピットの位置及び数量は変更可能。但し、最大2ヶ所とする。  
 ※1 FRP梯子は、オプション取り付けとし、最大2ヶ所まで取り付けることができる。

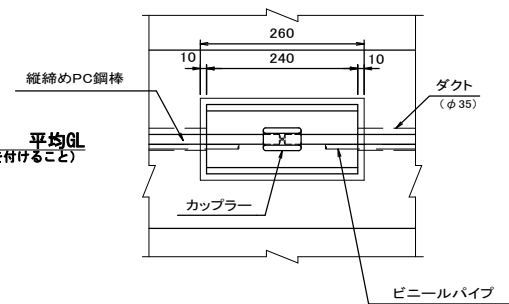
A-A 断面図



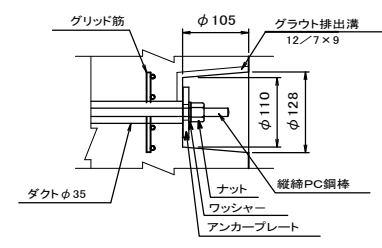
B-B 断面図



d部詳細図 S=1/6



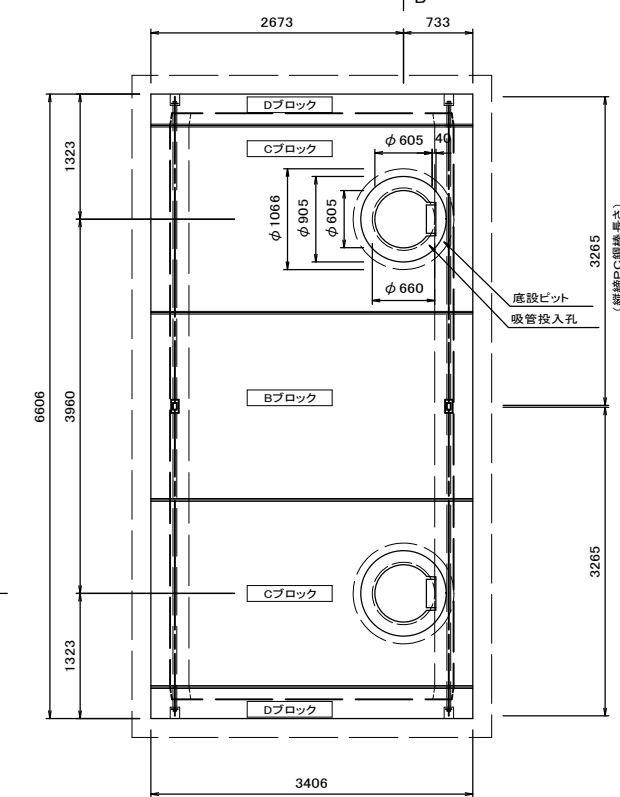
e部詳細図 S=1/6



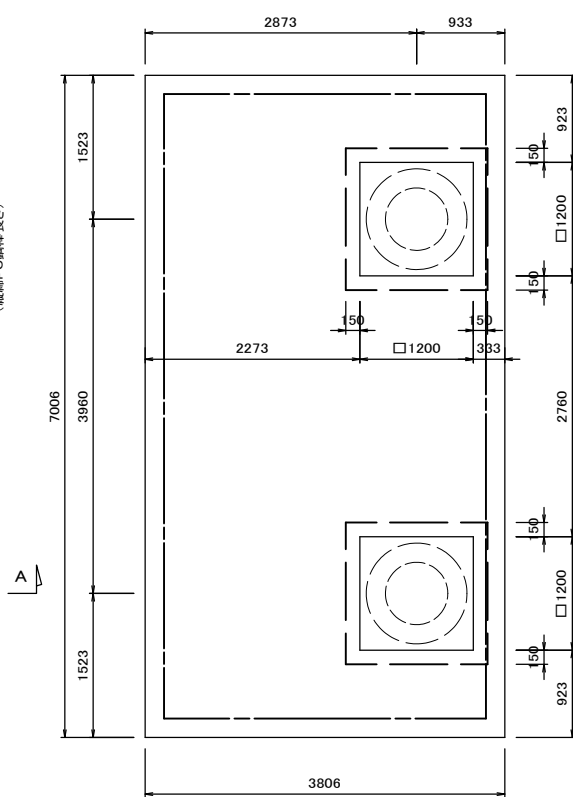
型式記号	ASH-322-I 型N-0.1/1.0 ASH-322-II 型N-0.1/1.0 ASH-322-III 型N-0.4/1.0		
認定番号	防-84100-1号		
容量	40 m <sup>3</sup>		
設置場所	I 型(空地用)	II 型(道路用)	III 型(道路用)
荷重	10 kN/m <sup>2</sup>	T-20	T-25
土被り	Hd=0.1~1.0m		Hd=0.4~1.0m
主材料	細目	数量	備考
Bブロック	3000×2200×1980	1個	切欠付
Cブロック	3000×2200×1980	2個	人孔型
Dブロック	3000×2200×333	2個	背面版
吸管投入ブロック	φ605, H=***	*個	
吸管投入ブロック	φ605, H=***	*個	
底設ビットブロック	φ660, H=503	2個	
FRP梯子		*個	
縦縮PC鋼棒	SBPR-930/1080-φ13, L=3265	8本	
カップラー	φ13用	4個	縦縮用
定着具 φ13用	ナット、ワッシャー、アンカープレート	8組	縦縮用
取付用金具	M20ホルト、ワッシャー	10組	人孔ビット用
受枠及び蓋	φ600	2組	
取付用金具	鉄筋φ16(ネジ切)又は、全ネジホルト(M16)、ナット、ワッシャー	6組	人孔受枠用

縦縮PC鋼棒 φ13 導入力 8部詳細図 S=1/6

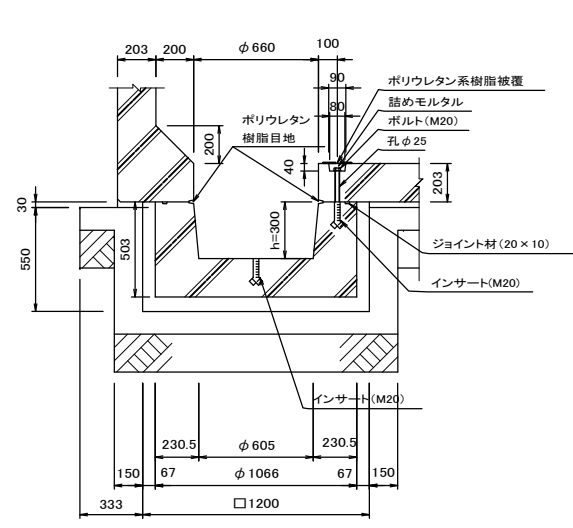
平面図



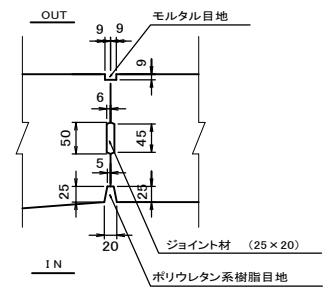
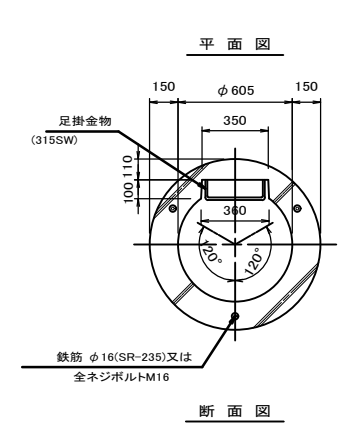
基礎平面図



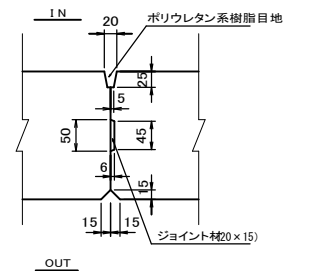
底設ビットブロック S=1/20



吸管投入孔 S=1/20



b部詳細図 S=1/6



c部詳細図 S=1/6

基礎コンクリートについて

水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強固な場合は均しコンクリート(無筋コンクリート)を基本とし、地盤が比較的柔らかい(中位のもの)場合、砂質地盤でN値が5以上10未満、又は粘土質地盤でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとする。又、基礎地盤のN値が5未満の場合は検討を要する。  
 基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとする場合は、別途図面による。

(参考) 基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について

基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
砂質地盤	10以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
砂質地盤	5以上10未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要
粘土質地盤	8以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上8未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要

\* 鉄筋は、SD295またはSD345を使用する。

40m<sup>3</sup>

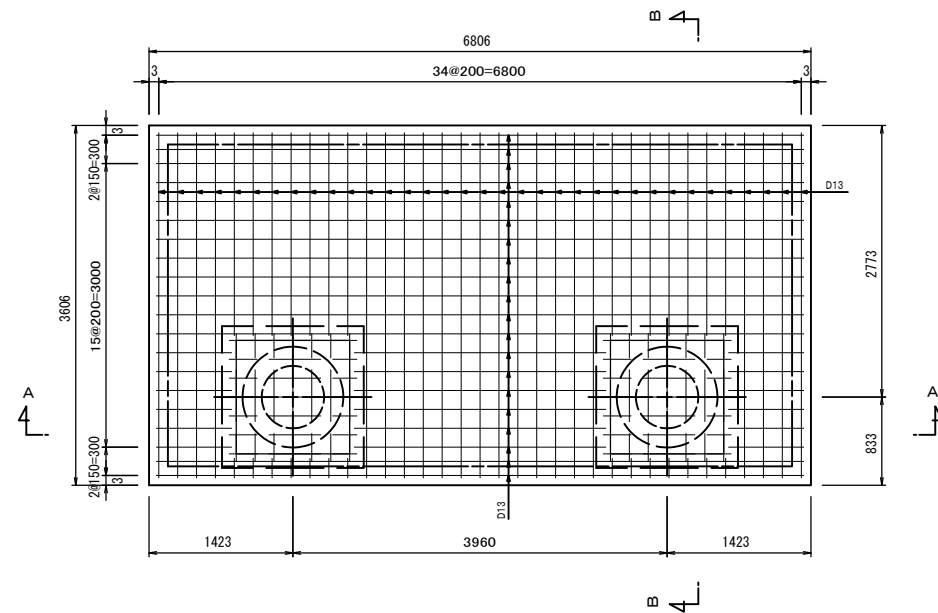
参考図

令和元年度 耐震性貯水水槽設置工事			
番号	2/4	構造図	縮尺 1:500
箕輪町 福与区			
町長	課長	調査	設計
箕輪町役場			
設計会社		管理技術者	
測量会社		調査技術者	
調査会社		主任技術者	

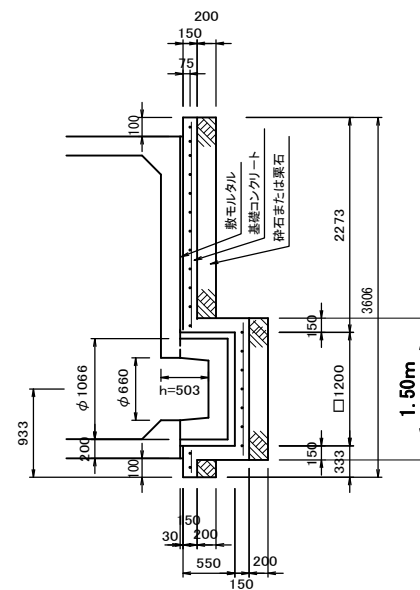
材料	強度	単位	N/mm <sup>2</sup>
コンクリート (現場打ち)	設計基準強度	$\sigma_{ck}$	24
	許容応力度	$\sigma_{ca}$	9
鉄筋	許容応力度	$\sigma_{sa}$	180

基礎コンクリート  
N値10以上のコンクリート材料強度は  
18-8-40BB・W/C=60%以下とする。

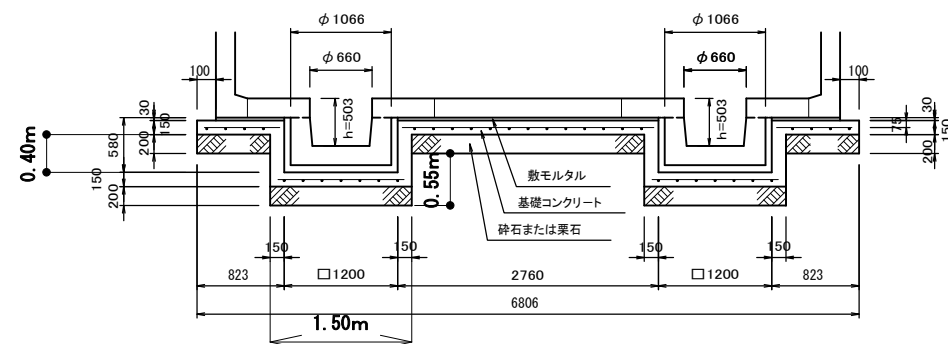
平面図



B-B断面図



A-A断面図



基礎コンクリートについて

貯水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強固な場合は均しコンクリート(無筋コンクリート)を基本とし、地盤が比較的柔らかい(中位のもの)場合、砂質土でN値が5以上10未満、又は粘土質土でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとすることで対応する。又、基礎地盤のN値が5未満の場合は検討を要するが、いずれの場合も監督員と協議のこと。無筋コンクリートとする場合の基礎の形状寸法は、この図面に基づくものとする。

(参考) 基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について

基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
砂質土	10以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上10未満	鉄筋コンクリート
粘土質土	5未満	検討が必要
	8以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
粘土質土	5以上8未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要

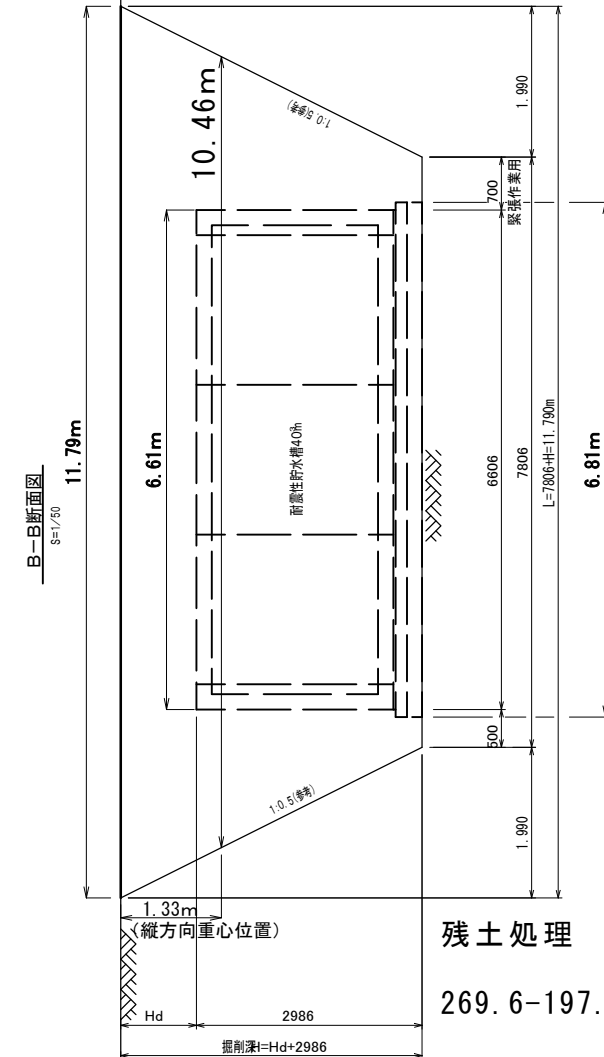
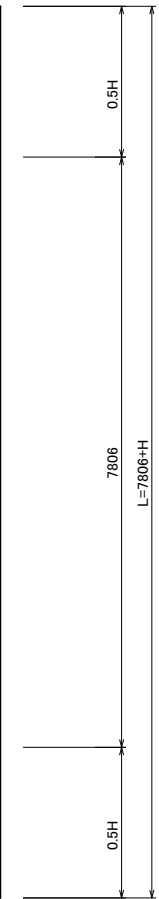
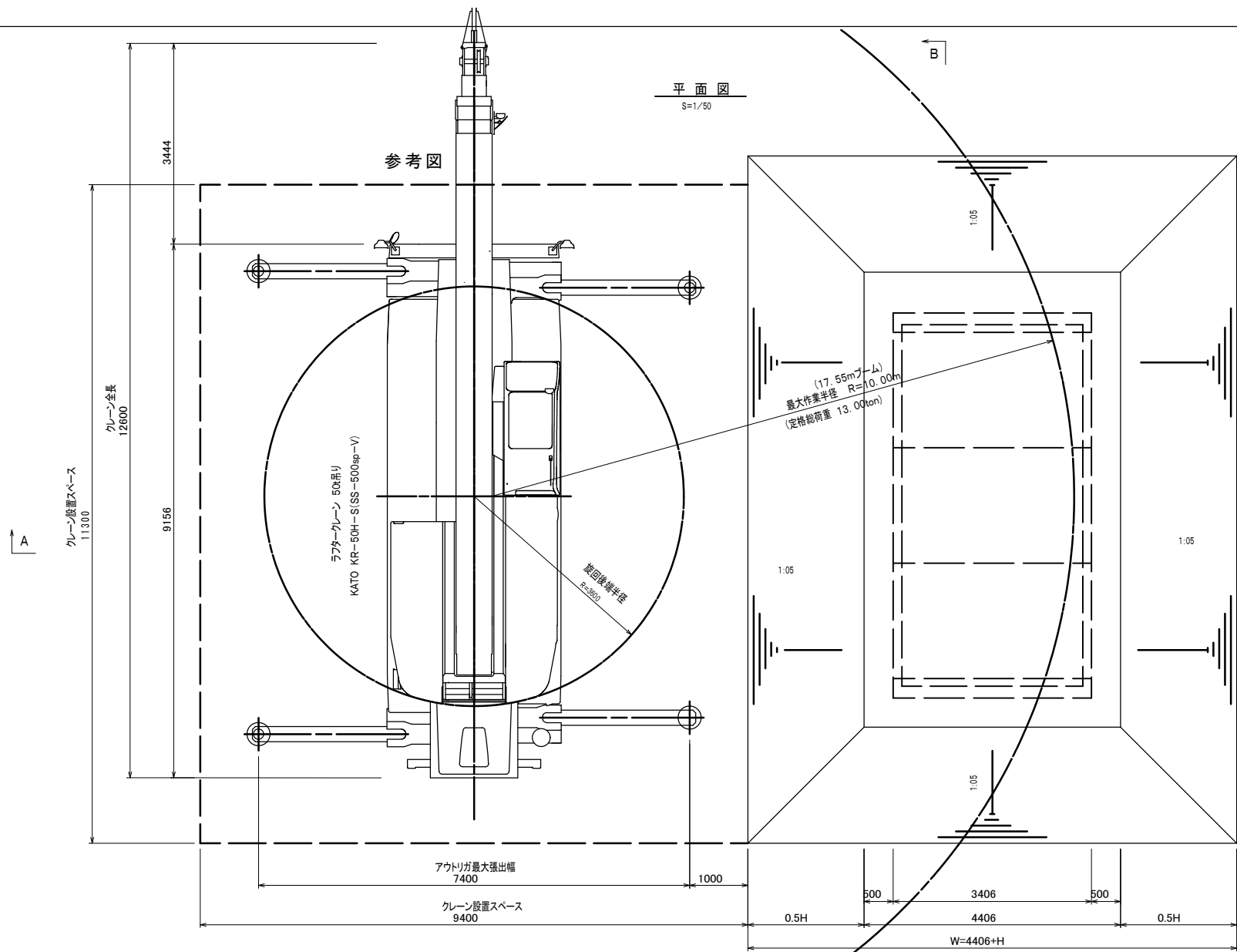
\* 鉄筋は、SD295またはSD345を使用する。

参考図

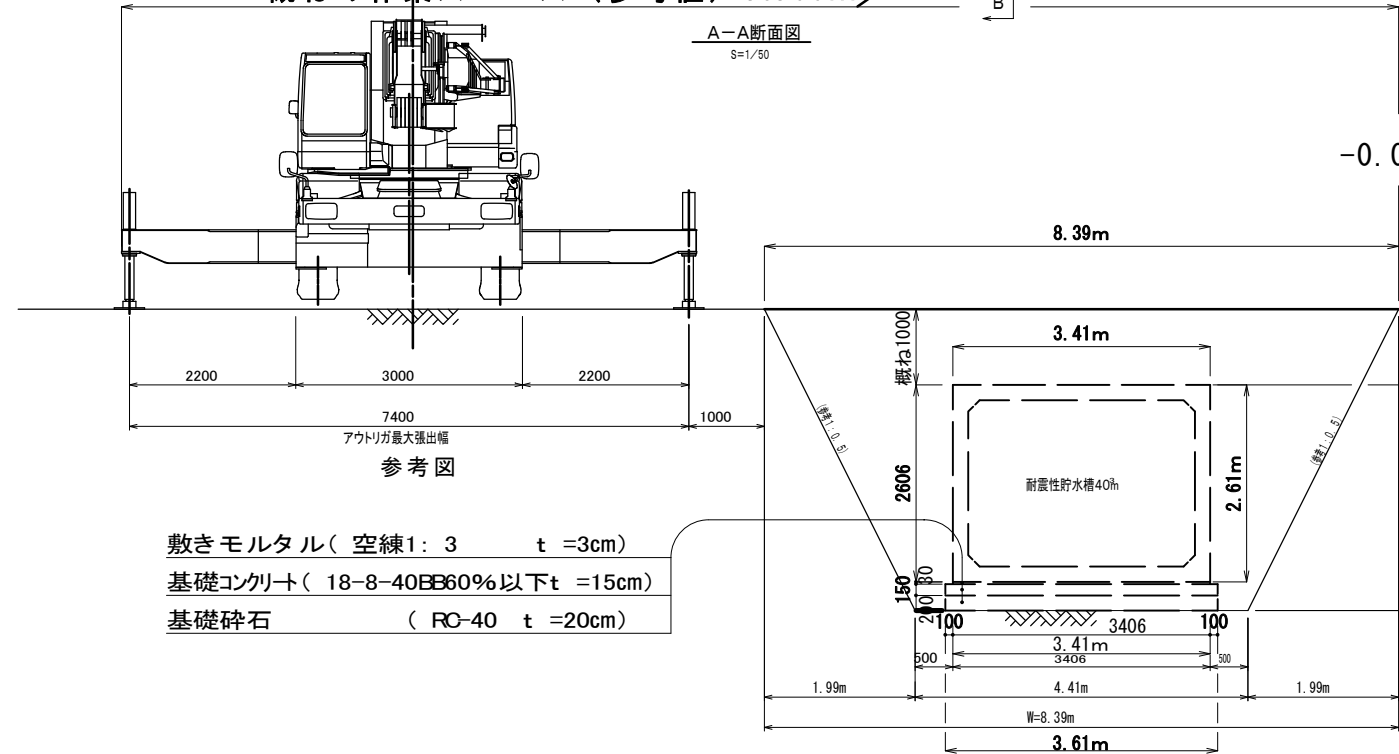
令和元年度 耐震性貯水槽設置工事			
番号	3/4	基礎コン構造図	縮尺 1:500
箕輪町 福与区			
町長	課長	照査	設計
箕輪町役場			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

注：当該工事はN値10以上と仮定しメッシュ鉄筋は施工しない。  
(スウェーデン式サウンディングを床付及び地表(2箇所合計L=2m)で実施すること)

※掘削勾配に関する考え方  
表示掘削勾配: 0.5は参考値である。  
従って、施工者は土質調査結果に基づき  
労働安全衛生規則及び切土工指針等を遵守  
して施工するものとする。  
(想定外土質は契約変更の対象とする)



概ねの作業スペース (参考値) 16.90m



- 敷きモルタル (空練1:3 t=3cm)
- 基礎コンクリート (18-8-40BB60%以下 t=15cm)
- 基礎砕石 (RC-40 t=20cm)

機械床掘 (4.41+8.39) 1/2 × 3.99 × 10.46 + 1.5 × 1.5 × 0.55 × 2箇所 = 269.6m<sup>3</sup>

埋戻 269.6 - 2.61 × 3.41 × 6.61 - 1.5 × 1.5 × 0.55 × 2箇所 - (0.2+0.15) × 3.61 × 6.81 - 0.03 × 3.41 × 6.61 - (0.905<sup>2</sup> × π/4) × 1.0 × 2箇所 = 197.7m<sup>3</sup>

基面整正 3.61 × 6.81 = 24.6m<sup>2</sup>

基礎コンクリート (18-8-40BB60%以下) 厚さ15cm  
6.806 × 3.606 × 0.15 + (1.5 × 1.5 - 1.066<sup>2</sup> × π/4) × 0.4 × 2 = 4.77m<sup>3</sup>

基礎コン型枠 (6.806+3.606) × 2 × 0.15 + 1.066π × 0.4 × 2箇所 = 5.8m<sup>2</sup>

モルタル (空練り1:3) 3.41 × 6.61 × 0.03 = 0.68m<sup>3</sup>

基礎砕石 (RC-40) 厚さ20cm  
3.61 × 6.81 = 24.6 ÷ 25m<sup>2</sup>  
24.6 × 0.2 = 4.9m<sup>3</sup>

セフティパイプ撤去復旧 2.0基

フェンス (H=1.0) 撤去復旧 L=12.0m

判の木常会花の郷ようこそ看板撤去設置1.0基

残土処理  
269.6 - 197.7 / 0.9 = 49.9 ÷ 50m<sup>3</sup>

注: 寸法のm表示は、数量計算に用いるために実寸法をラウンド処理したものである。(寸法単位表示がないものはmm。但し製品指定では無い。)

従って土質の変更以外変更の対象とはしない)

注: クレーン作業は50t吊鉤クレーンとして最大接地圧paを確認し、qd/pa=Fs (Fsは3.0を基本とする)を満たし、監督員の承認を得ること。

参考図

令和元年度	耐震性貯水増設工事
番号 4/4	仮設参考図 縮尺 図示
真輪町 福与区	
町長	課長 照査 設計
真輪町役場	
設計会社	管理技術者
測量会社	照査技術者
調査会社	主任技術者
	主任技術者

実施図